



九州液化瓦斯福島基地株式会社

▶事業概要

LPガスの貯蔵・受払い

▶所在地 松浦市福島町塩浜免58番地2

▶従業員数 48人

▶ホームページURL

<https://www.kyueki.com/>



健康で生き活きとした職場づくり

▶取組背景・目的

- ・健康診断における有所見率が高く、生活習慣病等の病気のリスクを抱えた社員が多数いたことから、社員の健康の維持・増進のため、衛生委員会を立ち上げ、健康経営に取り組むこととした。
- ・社員一人ひとりが生き活きと働ける職場づくりを目指し、健診内容の充実や運動機会の提供等、様々な取り組みを継続的に行い、社員の疾病予防と会社全体の活力向上を図っている。

▶取組の内容

【①健診】

- ・健康診断を年2回実施。受診時間は就業時間内とし、年に1回は医療機関の協力のもと、社内にて実施
- ・独自の検査項目を追加し、全額会社負担で実施（血圧脈波検査、前立腺がん検査等）
- ・再検査受診状況の個別確認を実施



【②運動】

- ・スポーツイベントの開催（ふらばーるバレーボール）
- ・運動機会の促進につながるスマホアプリの活用（歩こーで！、サントリープラス）



【③禁煙】

- ・禁煙チャレンジイベントの開催（ニコチンガム配布）

▶取組の成果

- ・健診受診率は100%、再検査受診率は50%。有所見率は令和2年度の67%から令和6年度には54%まで低下し、健康管理への意識が向上した。スポーツイベント参加率は79%となり、社員の健康への関心と行動の変化が広がっている。
- ・禁煙チャレンジイベントでは参加率35%、うち1週間の禁煙達成率は50%を記録。継続的な情報提供により、職場全体の健康意識が高まっている。

令和7年度長崎県健康づくり優良事例表彰（実践部門）



メルコアドバンストデバイス株式会社

▶事業概要

電子部品の生産技術開発、組立・検査

▶所在地 諫早市高来町東平原970番地

▶従業員数 323人

▶ホームページURL

<https://www.melco-advanced-device.co.jp/>



従業員の健康意識を高め、職場環境を整え、継続的な健康づくりを支援

▶取組背景・目的

- ・健康診断や生活習慣病健診後の対応に課題を抱えている。従業員の年齢構成が高めにあり生活習慣病や要精密検査の比率が増加しつつある。また、メンタルヘルス不調者の従業員が一定数存在している。
- ・会社として健康経営に取り組み、従業員の健康意識を高め実践することで健康的なライフワークバランスの普及を促進する。
- ・また、ストレス管理や定期的なカウンセリングサービスを提供を通じてメンタルヘルスの向上を図り、永続的な会社運営を行う。

▶取組の内容

【①健診】

- ・健診受診率 R5:100% R6:100%
- ・生活習慣病健診後の二次健診向上施策として、看護師面談実施
- ・看護師面談を実施することで早期発見、重症化を予防

【②健康イベント】

- ・自社独自の「歩こう会」を実施
- ・健保主催の「みんなで歩活」を実施
- ・年に2回、健康ハイキングを実施
- ・様々な健康に関するセミナーを実施
(運動・栄養・お口の健康教室、インボディー測定など)



▶取組の成果

- ・上記の取組みやその他の施策により、健康優良企業「金の認定」ならびに健康経営優良法人（2025）ネクストブライト1000に認定された。
- ・また、従業員のライフワークバランスの向上を図り、仕事とプライベートの切り分けを明確にすることで、心身の健康維持にもつながっている。



株式会社ヒューマングループ

▶事業概要

自動車教習所事業・観光事業・デジタル事業・不動産事業

▶所在地 佐世保市早岐3丁目12-6

▶従業員数 34人（グループ全体：58人）

▶ホームページURL

[https:// www.humangroup.co.jp](https://www.humangroup.co.jp)



ヒューマンで人々を幸せに！ヒューマンの健康経営の取り組み！

▶取組背景・目的

- ・ 創業者の急逝、スタッフの病気などをきっかけに、お客様に喜びと感動を与えるには、スタッフが健康で元気な会社でなければならないという現会長の想いが、ただ呼びかけるだけ、個人任せだけでなく、会社全体で取り組むことが重要だと考えるようになった。
- ・ パフォーマンスコーチのアドバイスを受けながら、会長・社長をはじめスタッフ全員が心身ともに健康で働ける環境づくりを目指している。

▶取組の内容

【① 健診】

- ・ 会社で日程調整全員受診、再検査該当者への受診勧奨

【② 健康増進、改善取組】

- ・ パフォーマンスコーチ（外部講師）によるスタッフ参加型の健康セミナー実施
- ・ 週一回の季節に応じた健康コンテンツ動画配信でパフォーマンス向上をサポート

【③ 禁煙】

- ・ 車両、全館禁煙・たばこ禁煙手当支給で禁煙奨励

【④ メンタルヘルス】

- ・ 睡眠&コンディションサーベイ実施・コーチング資格者のlonl実施



▶取組の成果

- ・ 正社員健診受診率100%、保健指導受講100%を達成。健康セミナー受講後2週間後のチャレンジ結果では健康意識アップ、改善への取り組みが促されている結果となった。6月に実施したセミナー(学んだスキルによる疲労への影響)では78.1%の参加者に改善が確認された。
- ・ 睡眠&コンディションサーベイの結果では、睡眠度合の平均が「睡眠がとれている」と評価され、安全レベルに達している。

令和7年度長崎県健康づくり優良事例表彰（殿堂入り企業）



エコー電子工業株式会社

▶事業概要

電子・情報通信機器の販売

▶所在地 佐世保市万徳町4-18

▶従業員数 204人

▶過去受賞年度 2019〈実践部門〉
2021～2024年度〈継続部門〉

▶ホームページURL

<https://echo.e-dera.jp/>



ワークライフバランスの充実に向けての健康経営

▶取組背景・目的

- ・ 弊社の企業理念は『人とみどりとソリューション』であり、『人』は「社員を1番大事にする」ことを表している。
- ・ ワークライフバランスの充実に向け健康経営に対する取組を実施することは、企業理念『人』に一致していると考えているため、健康経営を推進する取組を始めた。

▶取組の内容

【①健診】

- ・ 費用全額会社負担
- ・ オプション検査支援の実施
※若年乳がん、腹部超音波検査、PSA検査、脳ドック

【②食生活】

ウォーターサーバーの設置

【③運動】

フィットネスジム支援

【④休暇】

有給休暇及びリフレッシュ休暇における取得推進日の設置



▶取組の成果

- ・ 毎年100%の健診・再検査受診を維持しており、早期発見・早期治療に繋がった。
- ・ 水筒を持参する社員が増加し、ジュースやコーヒーを控える等食生活改善に繋がった。
- ・ 15名の社員がフィットネスジム支援を使用しており、体力維持の向上に役立てている。
- ・ リフレッシュ休暇取得率80%は昨年より19%向上し、社員のワークライフバランス充実に繋がった。

社会福祉法人 南高愛隣会

▶事業概要

障害福祉、介護福祉、公益事業運営

▶所在地 諫早市福田町357番地15

▶従業員数 700人

▶過去受賞年度 2020〈実践部門〉
2021～2024年度〈継続部門〉

▶ホームページURL

<https://www.airinkai.or.jp/>



全員参加型！1人1人が健康経営参画メンバー

▶取組背景・目的

- ・職員に健康体で長く働きがいを持って働いてもらうためには、生活習慣の改善による病気の予防はもとより、たとえ病気になったとしても、早期発見、早期治療につなげていくことが、事業主としての責務と捉えた。
- ・そこで、何か特別なことを行うことや、強制するのではなく職員1人1人が無意識にでも健康経営に参画できるような、事業主として「健康経営」を義務的にではなく当たり前のこととして実践できるようにしていきたいという狙いがあった。

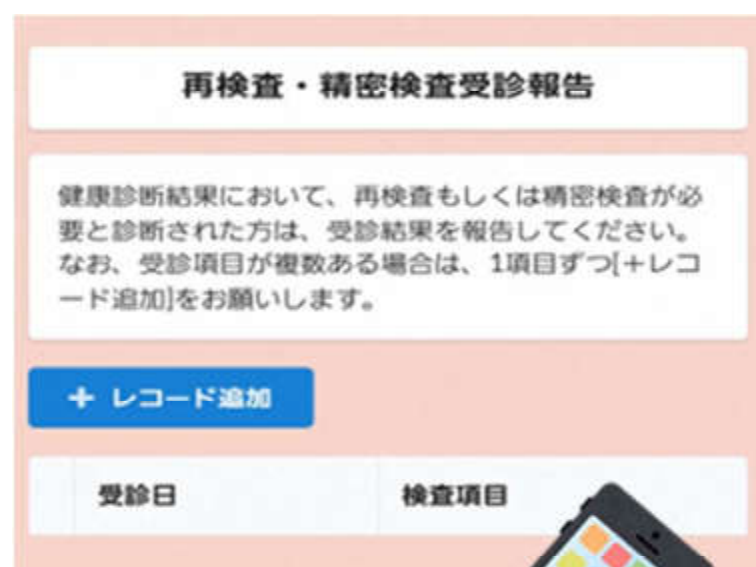
▶取組の内容

【①健診】

- ・健診後の再検査報告を各自のスマホから簡単に入力できる社内アプリを作成・活用
- ・保健指導は勤務時間内に受けられるよう、事前に日時と場所を調整

【②食生活】

法人内の給食製造事業所による栄養バランスの取れた食事を職員価格で提供し、食生活の乱れを防止



▶取組の成果

- ・保健指導の実施率は、義務化前の21.8%から令和6年度には100%を達成。
- ・他の取組の成果ともあわせ、法人全体の離職率にも改善が見られる。
正職員のみで算定した離職率は、平成26年度の8.1%から令和6年度には7.1%に低下。令和5年度は6.3%、令和4年度は7.8%と、継続的に改善傾向が続いている。

令和7年度長崎県健康づくり優良事例表彰（殿堂入り企業）



株式会社トータル

▶事業概要

保険代理店業、不動産事業、宅配水

▶所在地

本店：諫早市小川町1267 RDビル2F-A

▶従業員数 43人

▶過去受賞年度 2021年度〈実践部門〉 2021～2024年度〈継続部門〉

▶ホームページURL

<https://total-hoken.com/>



健康づくり推進活動

▶取組背景・目的

社員が継続して運動・健診などの健康意識の向上に取り組める環境を整え、企業としての活気ある職場環境の実現と生産性を高めるとともに、社員増員、離職率の低下、企業ブランドイメージ向上を目指す。

▶取組の内容

【①コミュニケーションイベント】

- ・野菜たっぷり手作り弁当の日（年4回実施中）
- ・UYK（運動・野菜・健康）の実施
- ・ボウリング大会
- ・ラジオ体操

【②セミナー開催】

- ・長崎県職場の健康づくり応援事業の活用
実施項目テーマ「身体活動・運動」
（2019年度～毎年）



▶取組の成果

- ・イベントを通じて、部署や支店を越えた交流・コミュニケーションが増えた。
定期的に社内ウォーキングイベントを実施しており、期間中は運動の意識が高まり、ウォーキングの習慣化と参加者の増加につながっている。
- ・セミナーの開催により、従業員の健康に対する意識が向上した。

長与町



【概要】

- ▶人口：39,243人(R7.9.1)
- ▶高齢化率：29.8%（R7.9.1）
- ▶平均寿命：男性82.0年 女性88.4年
- ▶平均自立期間：男性81.8年 女性86.3年
（長崎県の平均自立期間 男性79.9年 女性84.3年）
（KDB：令和4年データ）
- ▶ホームページURL
<https://webtown.nagayo.jp/kiji003163/index.html>



【特色】

- ・ベッドタウンとして人口が増加したコンパクトな町（県内1位の人口密度）
- ・自然環境と都市機能が調和した、暮らしやすい町
- ・集まりやすい・顔が見える距離感

▶取組の内容

【①長与町健康ポイント事業の実施（平成30年度～）】

- ・歩く、体組成測定、健診受診、健康づくりイベントへの参加など様々な機会にインセンティブ贈呈
- ・令和5年度から県アプリ「歩こーで」を活用
- ・獲得したポイント・チケットで抽選会参加

【②：秋(10～11月)・春(3月)は健康づくり強化期間】

- ・秋は町内を巡るウォーキングイベント
- ・春は体験型健康イベント「知っ得・納得・測っ得」
- ・健康づくり連携協定事業所を中心にイベントを開催



今年は戦後80年祈念
平和に関するスポットを巡る
デジタルスタンプラリー



▶取組の成果

- ・秋・春の強化期間を設定したことで、官民協働で健康づくりに取り組む人を応援する企画が充実
- ・町民の皆様にとって、健康づくりに取り組むための選択肢が増加
- ・事業への参加による健康づくりの習慣化を後押しすることができた

小値賀町

【概要】

- ▶人口：2,064人（R7.9末）
- ▶高齢化率：53.0%（R7.9末）
- ▶面積：25.50km
- ▶特産品：落花生、メロン、肉用牛、
イサキ（値賀咲）、タチウオ（白銀）等
- ▶ホームページURL
<https://www.town.ojika.lg.jp/index.html>



【特色】

- ・小値賀町は、小値賀本島を中心に、周囲に散在する大小17の島からなっており、いずれも火山の噴出によって生じた複雑な海岸線が織りなす美しい自然に恵まれ、島のほとんどが西海国立公園に指定されている。
- ・また、町の東部にある野崎島は、世界文化遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連資産」の構成資産の一つ「野崎島の集落跡」として登録されている。

▶取組の内容

【①：通いの場の推進】

- ・町内の通いの場の立ち上げ・運営を支援することで、身近な場所で健康づくり・介護予防の実現

【②：健康運動教室（ピラティス）】

- ・健康運動教室（ピラティス）の開催
初心者向けコースと経験者向けコースの設定による、幅広い年齢層の住民の参加促進



▶取組の成果

- ・通いの場の利用状況は、令和5年度は9カ所で72名の利用、令和6年度は12カ所で84名の利用があり、地域における活動機会の増加、参加者の広がりに繋がった。
- ・健康運動教室（ピラティス）の実施により、令和5年度から令和6年度にかけての累計参加者は59人。年齢は23歳から83歳までと幅広く多世代の参加が見られた。

令和7年度長崎県健康づくり優良事例表彰（継続部門）

藤村薬品株式会社

▶事業概要

医療機関へ医薬品や医療機器を販売する
医薬品卸売業

▶所在地 長崎市田中町2022番地

▶従業員数 200人

▶過去受賞年度 2024年度〈実践部門〉

▶ホームページURL

<https://www.fujimurayakuhin.jp>



従業員の健康にかかわる〈不の打開〉

▶取組背景・目的

- ・仕事と生活の調和がうまくいかないと、仕事の質が下がるだけでなく、心身の健康への悪影響や生活の質の低下など、さまざまな問題を引き起こす。
- ・そのため、柔軟な働き方やサポート体制の強化を通じて、従業員一人ひとりが適切なワークライフバランスを保ち、心身の健康を維持しながら充実した生活を送ることができるようにすることが重要。こうした環境を整えることは、働きがいのある職場を目指すうえでの責務と考える。

▶取組の内容

【①健診】

2次健診受診率 R5(68%)、R6(75%)
R7 2次健診受診率80%を社内事業戦略目標に設定

【②運動】

歩こーでを利用し「藤村ハッスル杯」を昨年同様に継続実施
企業対抗戦に昨年同様参戦予定(前年度5位)

【③ワークライフバランスの充実】

時短勤務、育児休暇取得、在宅勤務、個々の生活スタイルに合わせた時間の確保等を推奨

【④健康イベント】

協定先の自治体との健康イベント実施



▶取組の成果

- ・直接的に受診推奨を行い、受診率向上に繋がった。
- ・表彰制度の導入で「歩く習慣」が定着し、健康意識が向上した。
- ・働き方の柔軟化で、育児・在宅勤務が広がり、社員の満足度が向上した。
- ・自社が社外に向けて行っていることが社員に伝わり、より一層の意識向上につながっている。

令和7年度長崎県健康づくり優良事例表彰（継続部門）

九州テン 株式会社九州テン

▶事業概要

無線通信機器等の製造業

▶所在地 佐世保市小佐々町葛籠278-18

▶従業員数 658人

▶過去受賞年度 2022年度〈実践部門〉
2023年度〈継続部門〉

▶ホームページURL

<https://www.qten.co.jp/>



従業員が健康かつ、ライフスタイルに合わせた働き方ができる職場環境づくり

▶取組背景・目的

少子高齢化による深刻な人手不足が予測される社会環境下において、健康を理由に離職することがないように、未然防止を図るとともに、社員が長く働ける職場環境をつくる。

▶取組の内容

【①健診】

- ・健診受診率 R5年度100%・R6年度100%
- ・35歳以上の従業員は生活習慣病予防検診を義務化
- ・保健指導対象者に健康診断当日面談を提供

【②運動】

- ・社内サークル活動の推進及び、費用補助
- ・年1回のスポーツ大会を開催

【③禁煙】

就業時間内の禁煙を実施/禁煙デーの実施

【④感染症対策】

事業所にてインフルエンザ予防接種実施

【⑤その他】

希望社員に対し、病気リスクや体質把握のための遺伝子検査を実施



▶取組の成果

- ・特定保健指導該当率は2021年度の23.6%から21.0%へと改善し予防への意識が高まっている。
- ・ストレスチェックは全従業員を対象に実施しており、受検率は100%を達成。2024年度の全社平均における総合健康リスクは、全国平均より11ポイント低く、心身の健康状態が良好であることが確認されている。

西部道路株式会社

▶事業概要

建設業（舗装工事）

▶所在地 佐世保市福石町4-19

▶従業員数 119人

▶過去受賞年度 2024年度〈実践部門〉

▶ホームページURL

<https://seibudouro.co.jp>



健康経営に向けた取り組み

▶取組背景・目的

・社員の生活習慣病リスク保有者の割合、基礎疾患保有率の高さ、そして今後の就労人口不足を企業の課題として社員が心身共に健康で安心して働くことができる環境を整え、生産性向上を目指すために会社が出来ることを考えた。

・社員自身の健康状態に関心を持ってもらい、病気の早期発見・早期治療に向けて取り組み、また安心して働くことが出来る環境を整え、経営の健全化推進を目指している。

▶取組の内容

【①健診】

- ・付加健診費用および婦人科検診費用を全額会社負担
- ・特定保健指導対象者全員が指導を受けられる環境整備

【②運動】

「ながさき健康づくりアプリ」を活用

【③DX化】

DX化で業務効率化を進め、それに伴い有給取得率もUP

【④その他】

栄養士を採用し、食（身体の内面）からのアプローチで社員へ健康意識を発信



▶取組の成果

・健康経営宣言以降、健診受診率、付加健診受診率、特定保健指導受診率のすべてで100%を達成。

・令和6年度の有給休暇取得率は74.9%、1人当たりの平均取得日数は13日となり、有給の取りやすい環境整備が進んだことで、心身の健康状態が向上していることを実感できた。

令和7年度長崎県健康づくり優良事例表彰（継続部門）



国立大学法人 長崎大学

▶事業概要

研究・教育機関、人材創出・地域社会の持続的発展への寄与

▶所在地 長崎市文教町1-14

▶従業員等数 約14,000人（学生・教職員）

▶過去受賞年度 2019年度〈教育機関の部〉
2023、2024年度〈継続部門〉

▶ホームページURL

<https://www.nagasaki-u.ac.jp/>



「ヘルシーキャンパス・プロジェクト」による 長崎大学学生及び教職員の健康づくり

▶取組背景・目的

- ・ “優れた教育と研究は 心身の健康によって創造される” をモットーに、学生・職員の健康づくりをサポートし、健康長寿の礎となる豊かな生活確立することで、大学における生産性の向上を目的としている。
- ・ 今回ながさきヘルシーアワード継続部門を3年連続で受賞し、この成果を励みに、かけがえのない「健康」という基盤の上で、社会の調和的発展に貢献する長崎大学を目指していく。

▶取組の内容

【①健康診断】

- ・ 学生及び職員の定期健康診断や二次検診受診率向上活動、個別健康指導

【②栄養】

- ・ ヘルシー弁当の販売、栄養セミナー開催、新入生への保健指導を実施

【③運動】

- ・ ウォーキングチャレンジ、図書館ヨガの開催

【④メンタルヘルス】

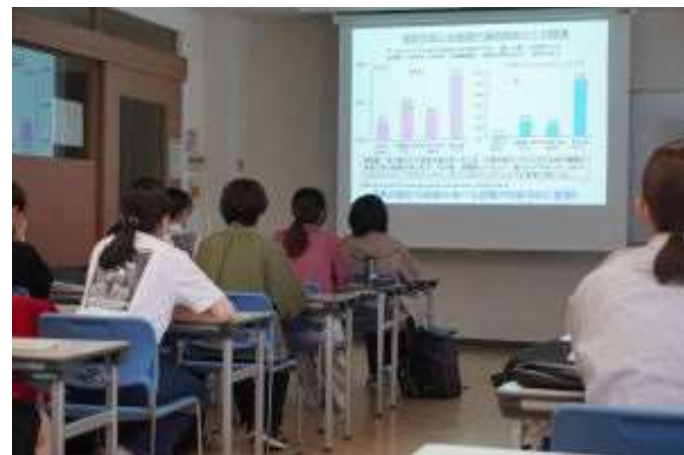
- ・ 健診でのスクリーニングと指導、睡眠相談、メンタルヘルスセミナー開催、カウンセリング

【⑤禁煙】

- ・ キャンパス内全面禁煙の周知、敷地内外パトロール、無料禁煙外来、禁煙図書コーナー設置

【⑥安全】

- ・ AED設置場所の周知、一次救命処置の講習会開催



▶取組の成果

- ・ 職員の健診受診率は99.8%、学生は学部生81.9%、大学院生71.8%で、いずれも目標を達成。職員・学生ともに二次検診の受診率が上昇。
- ・ 「図書館ヨガ」実施後アンケートで13名がヨガを日常生活の中で実践したと回答。
- ・ 睡眠セミナーには29名の学生が参加し、睡眠を見直すきっかけとなった。また、栄養ランチョンセミナーには53名が参加し、朝食への意識が高まった。



株式会社新長崎製作所

▶事業概要

発電設備部品の設計、製作、据付(現地工事)、
メンテナンス(設備診断)

▶所在地 諫早市貝津町2083番地11

▶従業員数 129人

▶過去受賞年度 2021年度〈実践部門〉
2023、2024年度〈継続部門〉

▶ホームページURL

<https://shinnagasaki.com/>



社員の健康づくりを通して経営の健全化を推進

▶取組背景・目的

- ・定期健康診断において再検査対象となる社員が減少せず、増加傾向にある。
- ・病の早期発見・早期治療を通じて社員の健康を守るとともに、健康で長く働ける環境を整えることで、経営の健全化を図る。

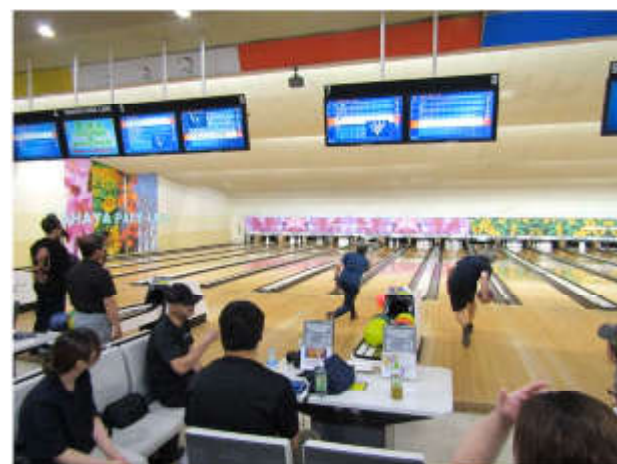
▶取組の内容

【①健康診断】

- ・就業時間内に100%受診
- ・二次精査と診断された社員については就業時間内に全額会社負担で100%受診
(病院への移動は会社よりタクシー手配)

【②運動】

- ・ボウリング大会などのイベントを活用
- ・休憩時間や就業後に社内でバスケットボールや卓球など運動ができる施設を整備



▶取組の成果

- ・定期健診および二次検診の受診率は100%を維持しており、今後も再検査対象者の減少を目指す。
- ・ストレスチェックの結果にも改善が見られ、メンタルヘルスの向上に一定の効果が確認された。今後は社員の家族も含めた予防接種や健康診断の実施についても検討を進めていく。
- ・スポーツイベントの開催を通じて、「気分転換になった」「リフレッシュできた」といった前向きな声が多く寄せられた。

令和7年度長崎県健康づくり優良事例表彰（継続部門）



株式会社平山組

- ▶事業概要 総合建設業
- ▶所在地 大村市東三城町8番地4
- ▶従業員数 44人
- ▶過去受賞年度 2023年度〈実践部門〉
2024年度〈応援部門〉
- ▶ホームページURL
<https://hirayamagumi.com/>



地域や家族の方々へ健康意識の醸成を図る取組

▶取組背景・目的

- ・去年4月より時間外労働の上限規制が始まったが、長時間労働を前提とした「働きすぎ体質」からの脱却が進まず、心身の疲労蓄積やメンタル不調、生活習慣病リスクの増加が今後懸念される。また、労働時間の短縮を進める中で、仕事の密度やストレスが高まる傾向も見られる。
- ・従業員一人ひとりが「健康な心と体が良い仕事を生む」という意識を持ち、ワークライフバランスを重視した働き方を実践できる組織文化をつくると共に、時間ではなく成果・質で評価される環境を目指し、安心して休み、健康に働ける土壌を整える。

▶取組の内容

【①健診】

産業医と連携によるリマインド体制の整備

【②メンタルヘルス】

- ・性格判断をもとに声かけができるサーベイの導入
- ・匿名アンケート実施や意見箱の設置
- ・健康経営推進担当者との面談を実施

【③健康経営】

- ・外部講師を招いたセミナーの開催
- ・社内報・ポータルサイトでの情報発信

【④年次有給休暇の取得率100%を目指す】

- ・月末に年次有給休暇の残数を配信
- ・業務調整時のルールを策定

【⑤月あたりの時間外労働時間ゼロを目指す】

- ・クラウド管理やアプリ導入などのIT活用
- ・新規部署の立ち上げ分業を徹底し業務負担を軽減



▶取組の成果

- ・年次有給休暇の取得は100%達成する事ができた。月あたりの時間外労働時間は、働き方改革により8割削減され劇的に減少。繁忙期は管理がうまくできなかった。
- ・社内コミュニケーションの活性化とメンタル不調の早期発見・対応の促進により、社員全体のウェルビーイングスコアが2ポイント上昇。面談時以外でも、社員からの積極的な相談が生まれるようになった。
- ・健康経営の情報提供・教育を年4回以上実施。健康を意識する機会創出となった。

社会福祉法人 山陰会 普賢学園

▶事業概要

社会福祉事業・障害福祉事業・児童福祉事業

▶所在地 南島原市深江町戊2825

▶従業員数 68人（法人全体150人）

▶過去受賞年度 2024年度〈実践部門〉

▶ホームページURL

<https://www.yamakage-kai.com/>



いい支援のために働きやすい環境を整備！心も体も健康に！

▶取組背景・目的

- ・私たちの福祉の仕事は人の人生に関わる仕事だからこそ、働く一人一人の心と体の健康が欠かせない大切な要素であると考えている。
- ・「より良い支援を行うため」私たち一人一人が福祉の仕事に「誇りとやりがい」を持つことがとても重要であり、「誇りとやりがい」は心身ともに健康で働きやすい環境から生まれると確信している。
- ・2019年から「働きやすい職場づくり」を本格的に目指し、様々な認証制度へのチャレンジも継続している。

▶取組の内容

【①健診】

- ・メンタルヘルス研修の実施・相談窓口の設置
- ・定期面談の実施・健康相談窓口の設置

【②食生活】

カレーの日制定

【③運動】

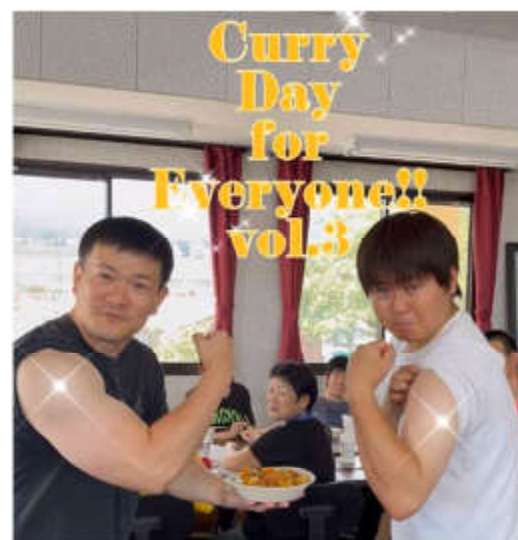
- ・地域スポーツイベントの後援
- ・毎朝のラジオ体操の実施

【④禁煙】

敷地内全面禁煙の達成

【⑤その他】

- ・コミュニケーション費の支給
- ・セルフケア応援制度



▶取組の成果

- ・多様な視点から、職場の健康面をサポートすることで、離職率や体調不良などによる欠勤率の低下につながっている。
- ・またコミュニケーション費の支給やカレーの日の制定を行うことで、楽しみながら心と体への健康活動に事業所全体として取り組むことが出来た。